

探究委員会

2026年度

# 舟入探究日誌

5月21日 実施

2年生（担当F.F.）： 先行研究調べ

3年生（担当T.Y.）： テーマの確定

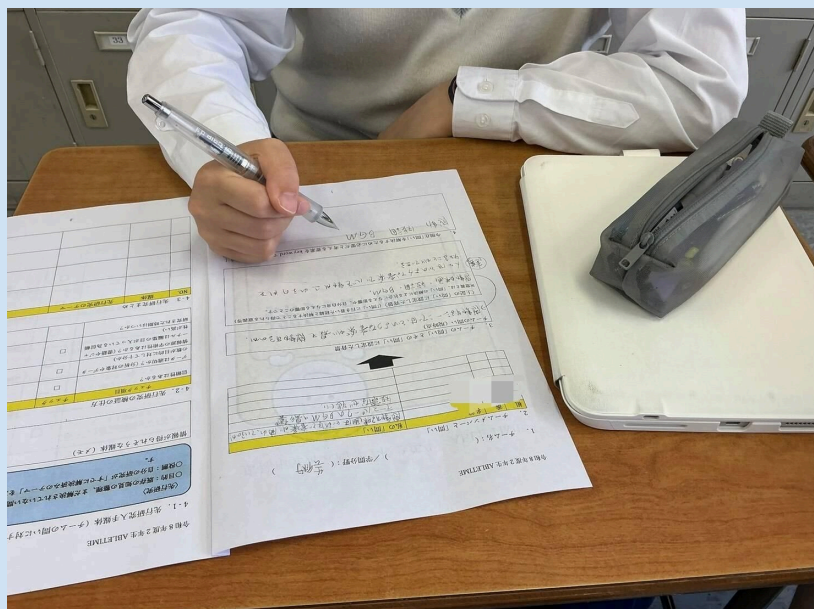
「舟入の探究」とは

本校では、1～3年生それぞれに週1時間ほど「ABLE Time(総合的な探究の時間)」という時間が設けられていますが、それは生徒たちが探究学習を行っていくきっかけにすぎず、最終的な目標は生徒が課外の時間に「外」に出て、主体的に自己の進路や目標と結び付けながら「問い」の解決を行っていただけることを目指しています。（舟入高校HPより抜粋）

「探究日誌」では

本校で行われる「総合的な探究の時間」は「ABLE Time」と名付けられています。生徒の間では、「エイブル」の愛称で親しまれています。生徒が主体となり、多様な探究活動が行われています。どのようなことをしているのかを外部の方々へ発信するため、有志の生徒が自身のABLEでの活動を紹介していきます。

2年生	活動紹介	<p>2年生は、前回グループで決めたテーマについて先行研究を調べました。自分たちで探究を行う前に、様々なジャンルの論文が集められたサイトで情報を集めました。</p> <p>私のグループでは「音楽と人間の心理の関係」に関する論文を探したのですが、探し求めていたような情報は見つかりませんでした。そのような論文が少ないのか、私の情報収集が下手なのか....。もっと頑張ります。</p>
	今後の展望	次回も引き続きグループごとにテーマに関する先行研究を調べます。
3年生	活動紹介	<p>今日は、論文を書くテーマを確定しました！</p> <p>エイブルでは、まずテーマを決めます。ちなみに、より良い探究を行うためには、具体的な問いの方が良いとされています。なぜなら、具体的であると、問いを立てた後の活動がスムーズになるからです。例えば、「世界を平和にするためには？」という問いよりも「戦争をなくすために、学生が参加しやすいことはなんだろう？」の方が、具体的で、圧倒的にイメージがしやすくなります。</p> <p>3年生は通常、個人で探究を進めます。しかし私は、同じテーマを持った人で集まって、計4人で探究をしています。4人で足並みを揃えるためには、問いをもっと具体的にしなければいけません。「世界平和！」だけだと4人がそれぞれ別のイメージを持ってしまうかもしれないからです。</p> <p>私達は「ABLE Timeの授業を更に良くするために、改善すべき所はどこだろう？先生の目線と生徒の目線両方から考えてみよう」という風な問いを設定しました！めっちゃ具体的ですね～。時間があればここから更に具体的にしていきたいと思います！</p>
	今後の展望	ここだけの話、最終的には授業計画を作成して、それを先生に提案しようと思っています。その準備を進めたいです！



#### ←2年生の活動風景

問いを解決するために必要なキーワードを挙げている様子です。早い段階から行うことで、今後「解決のために何をすべきか」を考えやすくなり、スムーズに活動を進めることができます。